

国 労 水 戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 大和田亨
編集責任者 坂本公則

生活実態に見合う賃金を

83,033円の春闘要求を集約

2013年春闘の指標となるJR各社の業績見通しは、各社ともに国内経済の回復基調と震災からの復興増益を見込んでいます。JR東日本の2013年度3月期第一四半期決算は、営業収益6,453億円（前年同期113.4%）、営業利益1,259億円（同161.1%）、経常利益1,075億円（同195.8%）となり、第一

四半期としては営業利益、経常利益ともに過去最高となりました。

JR貨物の平成23年度決算では、鉄道貨物輸送量が震災による生産活動の低迷に加え、急激に進んだ円高の影響等で、コンテナ貨物、車扱貨物で前年を大きく下回ったため、営業収益、営業利益ともに減少しました。これに営業外損益を加味した経常利益では1億円を確保したものの、次年度以降における法人税率見直しの影響による繰延税金資産の取崩しにより、5億円の当期純損失となりました。

安心して暮らせる
賃上げを勝ち取ろう



民間シンクタンクによると2012年から13年にかけての日本経済の見通しでは、2012年1～3月期の実質GDP成長率が1.0%（年率4.1%）と高めの成長であったことを踏

全組合員が一丸となり、組織拡大に全力をあげよう。

まえ、復興需要の本格化による回復基調の明確化、消費や設備投資も堅調に推移することが見込まれ、輸出減速にも歯止めがかかり、緩やかな回復に向かい、2012年度は2%台半ばの成長に達すると見込まれるとしています。

安全・安心な車両を提供



第24回東日本運輸協議会定期委員会が10月11日、新橋・生涯学習センターで開催されました。私は委員会を傍聴する立場で参加し、特に10月1日に強行実施された「グループ会社と一体となった業務体制のされなる推進」について、各地方で出された意見に耳を傾け勉強して来ましたが、東本運輸協議会は、検修外注化施策が提案されて以降、終始一貫して反対の立場で様々な反対運動を展開して来ましたが、基本要求の柱には、「安全・安心な車両を提供していく」

2013年度賃金・生活実態アンケート調査

2013年度賃金・生活実態アンケート調査は、分会・班の協力より全分会から報告を頂き集約が出来ました。既に本部へ来春闘に向けた要求額（83,033円）を提出しました。組合員のみなさん有り難うございました。

調査項目から（抜粋）
 年齢：平均53.7歳
 勤続年数：34.1年
 赤字とその補てん：39,067円で期末手当から補てんするが約87.5%、預貯金から79.2%と回答。
 節約している支出：衣類、外食、旅行、小遣いの順番。
 貯蓄の目的：老後、借金、家計、教育の順番。
 今日の生活で改善したい項目：税金・社会保障、年金、労働条件、借金、住宅の順番。
 来春闘の要求額：6万円以上が46.7%と最も多く、2013年春闘に大きな期待を寄せています。

立場で、車両検修業務を担って行けるのかコンプライアンス（法令順守）・偽装請負の疑念を払拭できない施策 出向者の労働条件について悪化が見込まれるなど、この施策が私たちの求める検修業務体制と相容れない内容であるとして、この施策に反対する基本要求进行作成し団体交渉に臨んだことが報告されました。

各委員からは、施策が強引に実施がされ団体交渉で確認されてきた事項について十分に守られていない等の問題点が出されました。また、乗務員勤務では「食う・寝る・トイレ」や「40条予備」の扱いについて引き続き調査・点検活動を更に強化し、要求の前進を図ることを全体で確認しました。

（文責・坂本公則）